

④ 首里三ヶ城南校区まちづくり協議会の取組

～眺望の素晴らしい首里崎山公園雨乞御嶽前広場の桜・植樹活動～

《地区の概要》

●首里三箇とは、崎山・赤田・鳥堀の三町を指す名称です。17世紀から18世紀にかけて、泡盛造りは首里三箇と呼ばれる地域内に限定されていました。この地域は湧き水が豊富で、水田も近かったため、醸造と蒸留に適していました。

●城南小学校区では、平成5年(1993年)6月、首里三ヶ青少年健全育成会(略称:三青会)が発足し、「地域の青少年は地域で守り育てよう」を合言葉に、毎月の防犯パトロール、自治会間の情報共有等に努めてきました。

●その後、令和元年6月、三青会を発展的継承した首里三ヶ城南校区まちづくり協議会を設置し、これまでの三青会活動に加え、校区内の課題解決、子ども達の健全な育成を図る活動を展開しています。

●崎山公園雨乞御嶽前の広場は、城南小や首里カトリック教会及び幼稚園の近くにあり、雨乞御嶽では大早魁時に神女を従えた国王自らによる雨乞いの儀礼が行なわれていました。眺望の素晴らしさでも知られ、首里八景にも詠まれています。

●崎山雨乞御嶽広場は、約20年前に地域住民からの要望により整備され、その際に三青会や地元自治会が桜を植樹しました。その桜が成長し今では開花時に美しい景色を見せています。

●開花時に地域の方が公園に立ち寄り、花見を楽しめる憩いの場となり、さらに首里城からの眺めも楽しめるように桜の植樹に取り組みました。



首里城からみた首里三箇地区の戦前の様子
出典:那覇市歴史博物館提供



首里古地図に描かれている雨乞御嶽
CC BY 4.0



首里崎山公園の雨乞御嶽広場に隣接する展望台からの眺め

《今回の取組の概要》

令和6年	8月24日	活動のアイデア出し
	9月19日	協議会役員への事業説明、活動内容の意見交換、活動内容の決定
	12月20日	首里崎山公園への桜の植樹(城南小学校6年生、吹奏楽部、地域企業)



協議会役員との意見交換の様子

実地研修の内容



多くの関係者が参加して開催された式典の様子。奥には復元再建中の首里城が確認できる



町田会長のあいさつ



城南小学校6年生による植樹の様子



植樹式の横断幕



活動後の集合写真

今回の実地研修を通して

- 城南小学校と連携することで、小学校6年生が授業の一環で参加し、植樹及び施肥を卒業記念とすることができました。
- そのことによって、城南小学校の教職員の皆さん、地域の企業の皆さんが参加する植樹となりました。
- 植樹が平日の実施となったことや告知が遅れたことによって、地域にお住まいの方の参加が少なかったことが課題です。
- また、植樹した桜や雨乞御嶽前広場に植栽されている樹木の管理が課題です。
- 植樹の準備等やさくらピクニックの際に、地域の多くの方が関われるような仕組みづくりが期待されます。